

広 報

陸 別

2012.4
平成24年
No. 613

◇ 町政執行方針
◇ 教育行政執行方針



第18回日産カップ陸別 歩くスキーの集い

昨年は東日本大震災のため中止となった「歩くスキー」。天候に恵まれ、60～70歳代を中心に60名以上が約8kmのコースを走った。



平成24年度 町政執行方針

野において、諸問題が次々と浮上してきています。

このような中、平成24年度国の一般会計予算（当初ベース）90兆3,339億円のうち歳入における税収は42兆3,460億円、公債金（借金）は、44兆2,440億円と税収を上回り公債金が約49%を占めています。

平成24年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、町政執行について私の所信を申し上げ、町議会の皆さん、町民の皆さんに、町政全般へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年の3月11日に発生しました、東日本大震災から1年が経過しようとしています。この間、被災地では復旧から復興・再生へと進んでいます。この震災から放射能への不安、環境への影響、自然エネルギーへの見直し、食の安全など多分

です。

「社会保障と税の一体改革」では、一般歳出に占める社会保障関係費の割合は5割を超えて、毎年1兆円規模の社会保障の自然増が不可避であり、安定財源の確保のため、消費税率の引き上げの議論が活発化しているところと見られます。

震災による復興・再生に係る長期財源の確保、「社会保障と税の一体改革」による消費税の引き上げなど今後、国の財源確保が地方にどのような影響をもたらすかを注視していかなければなりません。

北海道においても、平成24年度一般会計予算（当初予算ベース）では、総額2兆7,410億円のうち歳入の道税は4,947億円、道債（借金）は6,528億円と道税を上回り、道債

が歳入の約24%を占めています。

さらに、歳出における公債金（借入返済）は7,070億円と約26%を占め、6年連続の赤字編成で依然として厳しい状況です。このことから、北海道の施策もより一層厳しさが増すものと予想されます。

このように国及び北海道が財政的に大変厳しい現状ではあります。私は、小さな町だから出来る事を着実に実行し、先人たちが残してくれた豊かな自然に感謝し、町民の皆さんの信頼と期待、そして安心して暮らせるまちづくりを進め「きらりとひかる町」を目指して参ります。

私のまちづくりの基本姿勢であります「優しさのあるまち」「活力のあるまち」「創造していくまち」の実

現のために町民の要望・意向を反映し、小さくても個性豊かな町・よりよい地域社会の確率を目標にまちづくりを進め、町民の皆さんと一緒に、この難局に立ち向かう決意です。

町民の皆さんと職員が、共に知恵を出し合い、創意工夫の中から地域の問題・課題などが解決出来る信じ、ご理解とご協力をお願いするものであります。

当町の重要課題は、農業・林業・商工観光及び自然や資源を活かした地域ブランドの開発など、各分野での地域経済の活性化と雇用の創出であり、この重要課題を具体化し、解決していくことを目指して参ります。

以上が、平成24年度において、私が特に取り組んで参りたい基本方針でございます

ます。
平成24年度の予算編成にあたりましては、国の地方

（前年度6月補正予算比較）
一般会計

37億3,400万円
△1億2,100万円
（△3・1%）

特別会計

14億2,400万円
0万円
（0・0%）

合計

51億5,800万円
△1億2,100万円
（△2・3%）

したがって、ふるさと整備基金・いきいき産業支援基金など2億269万円を取り崩して収支のバランスを保つたところであります。

平成24年度陸別町予算の総額については、51億5,800万円、前年度当初予算が改選期による骨格予算のため、6月補正後の予算と比較しますと2・3%、約1億2,100万円の減、一般会計ベースとなりますと37億3,400万円、約1億2,100万円の減として、計上をいたしました。

次に新年度当初予算案に盛り込みました事業のうち、主な項目ごとにご説明申し上げます。
地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、昨年7月に配置した地域活性化推進専門員のもと、今年度は地域にある水資源を活用したミネラルウォーターの試供品を作り、市場調査を開始することとしており、その結果に期待するところであります。
また、雇用としては総務省の「地域おこし協力隊」の制度を活用し、地域ブランド開発推進員、商工観光

推進員の2名を採用し、地域の活性化につなげて参ります。

次に移住体験者の受入体制ですが、郊外にある住宅を改修し、郊外型の移住体験住宅として整備を図ります。移住体験住宅はこれです。3戸が整備され、より多くの移住体験者が来町し、定住対策の一環とし体験者の移住を期待するところです。

保健福祉関係について

まず、高齢者福祉関係であります。本町の高齢化率は約35%を超え、全国平均、全道平均を大きく上回っており、今後も少子化や人口の減少によりその比率は高まるものと想定されま

す。町民自らが「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、地域全体で高齢者を支える事がより一層重要であります。

このようなことから、高齢者のクラブ活動・地域住民とのふれあいなどを支援するためサロンのスペースを設けた、陸別町高齢者交



流センター（仮称）の建設に必要な予算を計上いたしました。

次に子育て支援についてであります。急速な少子化の流れや核家族化、女性の社会進出等によって、子どもが生まれ、育てられる環境は大きく変化しており、親の負担を地域全体で支援していくことも必要となつていきます。乳幼児等医療費助成事業を改正し、子ども医療費助成事業の制度として、中学生までの入院・外来の自己負担分を無料化し、安心して子育てが

できる環境を築いて参ります。

なお、子ども医療費助成事業・重度心身障害者医療費助成事業・ひとり親家庭等医療費助成事業は所得制限を廃止し、必要な経費を計上いたしました。

今年度から子育て支援センターには、保育所担当の保育士を新たに配置するとともに、保育ママ利用助成などの各種事業についても従求通り進め、保育サービスの充実を図つて参ります。

また、学童保育所の利用者は、言うまでもなく小学校に通学する児童で、放課後の生活態度や保護者に関する情報を共有する必要性から保健福祉センターから教育委員会へ所管換えをし、家庭と学校・教育委員会が連携を図り、地域全体で子どもと子育てを支援する体制を築き上げて参ります。

また、昨年に引き続き教育委員会と連携した保育所での弁当休みの日を設けるための必要な経費を計上いたしました。

障がい者福祉につきましても、「陸別町障害者福祉計画」に基づき、障がいのある人が自らの選択により、必要なサービスを利用しながら地域生活が続けられるよう、当町が実施する地域支援事業の充実を図って参ります。

農林業の活性化について

日本の食料自給率は40%台となっており、先進国ではもつとも低く、食料自給率を高めることは、国の安全保障と同じくらい重要であります。食の安全に関わる輸入食材では、BSE問題、輸入野菜の農薬問題等が多く発生してきました。また、輸入農産物がどのように作られているのかチェックがしにくい現状もあります。

その点、国産品、特に地産地消であればなおさら安心であります。日本は昨年の11月に「TPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加に向けて関係国との協議に入る」との方針を表明しま

保健事業につきましても、インフルエンザのまん延防止のため、予防接種費用については非課税世帯の方に加え、新たに18歳未満、65歳以上の方も、無料化するための必要な経費を計上いたしました。

した。食の安全・基準の緩和など生活や経済に大きな影響を及ぼす可能性があります。



このことは、当町の基幹産業の死活問題であり、自治体の存亡に係わるため、商工会・JA・町及び町村会などと連携を図って反対運動を展開していかなくてはならないと考えているところであります。

平成21年度から実施している畜産担い手育成総合整備事業は、今年度で完了となつていきます。来年度以降の基盤整備対策事業の導入に向け検討を進めて参ります。

更に、酪農ヘルパー事業、後継牛の一貫した育成に対する支援として哺育センター堆肥舎建設事業、陸別町コントラクター（株）に新たにトラクターなどを購入し貸付ける自給飼料確保対策事業のために、必要な経費を計上いたしました。

なお、経営安定のための各種資金利子補給事業、今年度に1戸の新規就農予定者が見込まれる新農業人育成事業、新たに5年間継続する優良家畜導入支援事業などの農業施策について必要な経費を計上いたしました。

平成21年度から実施しています、道営畑地帯総合整備事業「単独営農用水」（第2トラリ地区）は、平成26年度の完成に向けて継続して参ります。

また、上陸別地区営農用水施設整備事業の導水管路改修に係る経費を計上いたしました。

林業関係であります。民有林の伐採後の跡地造林がいつこうに進んでいない状況のなか、今年の1月に森林組合・商工会の林業部会・町の三者で陸別町林業振興対策検討会を設立し

国・北海道に対しても温暖化・治山・治水対策としての造林事業の対策強化に向けて強く、要請活動を行って参ります。

商工・観光業の活性化施策について

町内商工業者の健全な経営及び設備投資のための融資制度、保証料補給及び利子補給事業につきましても、経営の安定、商工業の振興を図るために継続して実施して参ります。

商工会が今年度も実施す

は、国有林分収林、町有林を森林環境保全整備事業の補助事業として整備を進めて参ります。さらに森林整備は地域雇用に大きく寄与しており、町の単独施策であります、民有林造林事業への補助制度と雇用促進の制度については、引き続き継続して参ります。

森林の保全対策として新たに上陸別地区小規模治山事業に今年度から着手し、2力年で整備する予定で必要な経費を計上いたしました。

国、北海道に対しても温暖化・治山・治水対策としての造林事業の対策強化に向けて強く、要請活動を行って参ります。

る。プレミア商品券発行事業につきましても、多くの消費者に喜んでいただけるよう必要な経費を計上いたしました。

昨年度から町職員を商工会へ派遣しており、商工会との連携、情報交換を通じ



て、より充実した商工業の振興に努めて参ります。

平成21年度から日産自動車(株)への支援策として実施しています日産自動車購入助成事業につきましては、引き続き助成するため経費を計上いたしました。

先の東日本大震災により、原子力エネルギーへの不信感・不安が未だ払拭されない中、再び自然エネルギーの活用が見直されています。平成16年、17年度に実施しました太陽光発電設置事業に、今年度は新たに2戸分の経費を計上いたしました。

次に観光関係です。

しばれフェスティバルは、第31回目を無事に終了することが出来ました。今回は吉本興業の「住みますプロジェクト」と連携し、昨年の30周年と変わらぬ盛況ぶりでした。これも、ひとえに実行委員会の皆さん、支援・応援をいただいた町民の皆さん、各関係機関の皆さんのご理解とご協力の賜であり、感謝と敬意を表したいと思えます。

しばれフェスティバルは、地域、町民同志の「絆」づくりに向け、更に成長していくものと確信しております。

観光協会が独自事業として取り組んでいる「ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり」は今年7月に第4回目を迎えます。観光イベントとしてPRや企画内容の充実が図られるよう必要な経費を計上いたしました。

旧駅構内での列車等を活用した、ふるさと銀河線りくべつ鉄道事業につきましては、商工会が積極的に取り組まれておりますが、商工会からの要望をふまえ乗降台・D型ハウス建設に加え、旧川上駅舎を移設するために必要な経費を計上いたしました。

銀河の森天文台は、研究観測の充実はもとより、滞在体験型の交流施設としての機能を発揮できるよう努めるとともに、名古屋大学を始めとする各研究機関と町における社会連携に関する情報交換、事業協力及び交流活動を通して、地域振興の推進を図って参ります。

消費者対策につきましては、現在1名の方が消費者生活専門相談員の資格を有していますが、今後とも相

談員の資格取得への支援を継続いたします。

雇用対策ですが、町単独の緊急雇用対策事業として、町内季節労働者、短期労働者の雇用安定に加え、若年層の就業対策としての経費を引き続き計上いたしました。

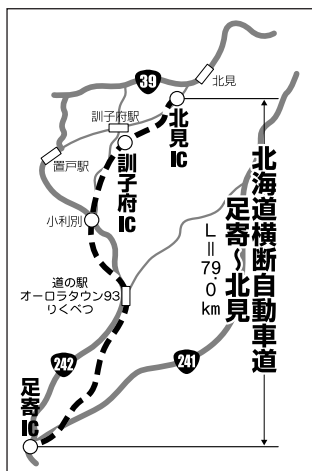
道路網の整備について

平成18年に北海道ちほく高原鉄道が廃止になり、一段と重要である道路網の整備についてであります。

国道242号線の整備につきましては、栄町からJ A間の歩道拡幅整備事業を

継続し、今年度で完成する予定であります。

平成18年度着手しています、北海道横断自動車道小利別―北見間28キロメートルのうち帯広開発建設部が所管する4・1キロメートルにつきましては、平成20年代後半の供用開始に向け早期完成を強く要請して参ります。また、抜本的見直し区間であり、足寄―小利別間51キロメートルは、十勝圏とオホーツク圏とを結ぶ、道東ネットワークの早期実現に向け、地域を挙げて強く要望して参ります。



道々津別陸別線の歩道拡幅工事は昨年度で終了し、下陸別・中陸別・止若地区の危険箇所線の線形改良等につきましては、昨年度に概略測量設計を実施し、本年

度は実施測量設計と用地確定測量を行い、一部用地買収をする予定であります。引き続き早期着工に向けての要請を行って参ります。

町道整備についてであります。

先に述べました、国道242号線歩道拡幅整備事業に伴う町道宮下本通りの終点部分の改良事業、新町2区の町営住宅整備事業に伴う、町道新町8号通りの改良事業・町道東1条2丁目通り他維持補修事業などに係る経費を計上いたしました。さらに、町道東1条2丁目通りの街路灯につきましては、LED街路灯を試験的に設置し、照度や電気料などのデータを収集し、今後の事業に活用して参りたいと考えております。

また、町道の除雪などに使用する雪寒機械として、7トン級ダンプ除雪車の更新に係る経費を計上いたしました。

町道の用地等におきましては、未確定の用地が存在することから、調査に必要な経費を計上いたしました。

町道等に架かる橋りょうにつきましては、昨年度に引き続き、橋りょう長寿命化修繕計画策定事業により、44橋の点検を実施し、

平成25年度から修繕計画の策定に取り組みます。

住宅整備についてであります。

公営住宅改修事業につきましては、ポイントマム地区にあるポイントマム団地4棟10戸の解体工事、緑町団地の遊具については、公園等の遊具として適合せず危険性が高いことから、自治会の皆さんとの協議を踏まえ撤去することとし、必要な経費を計上いたしました。

町営住宅整備事業は、新町団地の建て替え事業として2棟4戸を整備し、これに係る解体工事、外構工事に係る必要な経費を計上いたしました。

河川改修についてであります。

北海道が管理する一級河川利別川の河川改修工事につきましては、町道大營地薫別線に架かる千歳橋の橋りょう詳細設計・地質調査を実施し、平成25年度に橋の架換工事に着手する予定であります。

教育関係につきましては、教育委員会の意向に基づき、所要の経費を計上いたしました。

学校教育環境の整備ですが、昨年度までに小学校・中学校の耐震補強と大規模改造事業が完了し、今年度は中学校の外構工事を実施して参ります。

また、小学校の管理用品の整備、関寛斎没後100周年記念事業のため、所要の予算を計上いたしました。学校給食につきましては、実施に向けて教育委員会と検討していきたいと思っております。



なお、各予算に係る一部改正条例案を提案しておりますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

診療所の運営について申し上げます。

国保関寛斎診療所の運営につきましては、前年度当初予算と比較して診療収入が増収となりました。

内容は入院収入と検査等収入が大幅に伸びた事が要因であり、一般会計からの繰入れも前年度当初予算より減少している状況であります。収支改善にはなお一層の努力を重ね、町内唯一の診療機関として、町民の皆さんが安心して住み続けるための施設でありますので、今後とも医療体制の確立維持に努めて参ります。

簡易水道事業及び公共下水道事業関係について、申し上げます。

簡易水道及び下水道につきましては、国道242号線歩道拡幅に伴う給水栓及び公共柵、下水道マンホールの高さ調整に係る経費を計上いたしました。

簡易水道事業においては、

道々苦務陸別停車場線に架かる斗満橋付近の配水管路布設替えの設計費を計上いたしました。

下水道事業は平成9年度から供用開始しており、水洗化率は、85・7パーセントになっております。

介護保険事業勘定関係について申し上げます。

平成24年度は、制度が始まってから12年を経過し、3力年毎に進めてきた計画の第5期目の初年度に入ります。保険料の見直しにあり、次期計画に極力影響を与えない範囲で、介護給付費準備基金の一部を取り崩し、第4期目の保険料と同額の基準月額3,300円に据え置き、被保険者の負担を増やさないよう図って参ります。

以上が、3月定例議会にありましての所信であります。

議会並びに町民の皆さんからご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。平成24年度の町政執行方針といたします。



平成24年度

教育行政執行方針

様々な問題を抱えておりません。

また、子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下、家庭・地域の教育力の低下などが指摘されております。

こうした中で、平成24年度から中学校も新学習指導要領が全面实施されることになり、数年にわたる教育改革が、具体的な教育実践となつて展開されてまいります。

このような状況の中で、北海道教育の基本理念である「自立」と「共生」のもと、子どもたちの「生きる力」

教育行政の執行につきましては、平素より町議会を始め、町民の皆様の深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成24年度の教育関係予算をご審議いただくに当たり、教育行政の主要な方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思っております。

今日の社会は、人口の減少や少子高齢化に加え、グローバル化の進展や産業構造の変化、景気の低迷など

を育むために、教育委員会

といたしましては、しばれの町りくべつ教育の日のメインスローガン「あいさつ・おもいやり・ありがとう」のもと、家庭、学校、地域との連携を推進し、「家庭は温かく」「学校は楽しく」「地域は明るく」を合言葉にして、本町の恵まれた豊かな自然や地域の資源を生かした、教育行政の推進に努力してまいります。

以下、平成24年度の主要な施策の概要について申し上げます。

その1「学校教育の推進」

学習指導要領が改訂になり、小学校は既に昨年度から完全実施され、中学校も今年度から完全実施されま

す。

る教育課程の編成については、授業時数や指導内容について、遺漏のないように取組を進めてまいります。

今年度も「確かな学力の向上」「豊かな心と健やか

な体の育成」「信頼される学校づくり」を重点として取り組んでまいりたいと思

います。

一点目の「**確かな学力の向上**」についてであります。

陸別小学校では、毎日の「朝学習」と「算数科における複数指導」の実施や、陸別中学校では、1名の先生の加配を受けて「数学科の習熟度別学習」の取組を進め、基礎学力の定着を図つてまいります。

また、家庭学習の定着を図るために、宿題と授業の関連を重視するなど、学校と家庭との学びの連続性の確保を図り、「早寝、早起き、朝ごはん」の基本的な生活習慣の形成に努めてまいります。

平成24年度全国学力・学習状況調査は、4月17日に実施されますが、子ども一人一人の学習の状況や課題

について把握し、さらなる学校改善に取り組むため、陸別小学校は希望利用で、陸別中学校は抽出調査で参加してまいります。

特別支援教育の推進については、引き続き発達支援専門員の派遣と学習支援員を配置して、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進してまいります。

学校支援地域本部事業については、地域の方々の協力を得て、学校支援活動を行つてまいります。

二点目の「**豊かな心と健やかな体の育成**」についてであります。

子どもたちがともに支え合い、健康で安全な社会の実現に自ら貢献できる資質・能力を高めることができるよう、規範意識や自律心、思いやりの心をもち、自他の生命尊重を基盤とし

た行動力や実践力の基礎を培うことが大切であります。

そのため、道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであることを明確にするとともに、道徳教育推進教師を中心として全教職員が協力して「道徳教育の充実」を図ってまいります。

特に、「心のノート」の計画的な活用や、「道徳の時間」の指導の工夫に努めるとともに、道徳の授業公開を実践してまいります。

陸別小学校におけるしぼれフェスティバルの取組などのふるさと学習や、陸別中学校が町内の事業所の協力を得て実施をしている職場体験学習など、実感を伴った陸別ならではの体験学習活動を実践してまいります。

読書活動については、陸別小学校の朝読書を継続し、読み聞かせを通して読書活動の充実を図ってまいります。

いじめの問題については、「どの子どもにも、どの学校においても起こりえる」



ものであるという認識のもと、「いじめは人間として絶対にゆるされない」という意識を一人一人の児童生徒に徹底することが大切であります。

いじめについては、教育相談や「アンケート調査」を実施し、早期発見、早期対応を第一として学校全体で取り組む、子どもたちが発するサインを見逃さないきめ細やかな対応に努めてまいります。

「健やかな体」を育成するために、薬物乱用防止教室の開催や、学校教育全体

を通して食に関する指導の充実にも努めてまいります。

今年度も「弁当休みの日」を実施するために、所要の予算を計上いたしました。学校給食については、その実施方法について結論を出すため努力してまいります。

児童生徒の体力・運動能力の向上については、新体力テストの取組を継続して実施するとともに、運動やスポーツの楽しさを味わうことができる体育学習の充実に努めてまいります。

今年度から中学校では武道の種目として柔道を取り組みますが、外部講師の指導をいただきながら、安全に注意を払い授業を進めてまいります。

今年度も町が実施するインフルエンザ予防接種補助制度を児童生徒の保護者や教職員に周知徹底を図り、予防接種の受診により、集団感染の予防に努めてまいります。

三点目の「信頼される学校づくり」についてであります。

教育は、子どもたちへの深い愛情と、学校、家庭、地域が相互の信頼のもとに、地域社会全体が子どもたちの成長を願い協力し合って行われることが大切であります。

そのために、校長のリーダーシップのもと、教職員が一致協力して、保護者や地域住民からの強い信頼と協力を得ながら、教育活動に取り組むとともに、学校だよりの地域回覧や地域参観日、ホームページの開設などを引き続き実施してまいります。

また、学校評価を適切に実施をして、結果の分析及び公表を通して、保護者の思いや願いに応える授業づくり、学校づくりを進めるとともに、保護者や地域住民等に学校運営の状況を周知し、地域に開かれた学校づくりを進めてまいります。

学校におけるあらゆる危機管理の対応については、学校独自の危機管理マニュアルの点検と修正を不断に行い、効果的な危機管理体制の確立に努めてまいります。

授業力の向上を図る研修については、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の指導を受けながら、資質向上に向けて取り組んでまいります。

教職員の服務規律の保持につきましては、機会あるごとに注意を喚起しながら、交通違反や飲酒運転の根絶など不祥事の未然防止について指導の徹底に努めてまいります。

次に、特色ある教育活動といたしましては、引き続き「小中学校連携教育推進事業」を実施してまいります。この小中連携教育の取組については、町内の教職員全員が参画して事業を推進しており、その成果も上がってきております。

今年度も本町の特性を生かして、学びの連続性を重視した授業実践や小学校と中学校が連携して取り組む研修、そして地域と連携して取り組む特色ある教育活動を推進してまいります。

次に、児童生徒の安全確保についてであります。

登下校時における児童生徒の安全確保につきまして、日頃の児童生徒に対する指導を始めとして、「通学路の再確認」や「交通安全教室」を開催して指導の徹底を図っております。

また、小学校においては、昨年度から校区支援ネットワークの取り組みが始まり、登下校時の街頭指導にご協力をいただいております。

子どもたちを地域の大人の目で見守り、各関係機関と情報の共有を図りながら、安全確保に努めてまいります。

今日の高度情報化の進展は、ライフスタイルや価値観の多様化を加速し、そのことよって個人と地域・集団との関わり方も変化してきていますが、生涯を通じて心身ともに健康で生きがいのある人生を過ごすことが求められていることに変わりはないと思います。そのため、町民が健康で

ります。

次に、学校施設の整備についてであります。

学校施設の耐震化につきましては、昨年度陸別中学校が完了しましたので、既に耐震化が完了しております。陸別小学校と併せてすべの学校施設の耐震化が完了いたしました。

今年度は、陸別中学校の外構工事を予定しておりますので、所要の予算を計上いたしました。

陸別小学校の公務補業務につきましては、引き続き民間委託を進めてまいります。

文化的な生活が営めるよう、平成23年度から始まった第7期陸別町社会教育計画に基づき、学習や文化・スポーツに親しむ機会の提供など社会教育の推進に努めてまいります。

具体的には、家庭教育学級やことぶき学級、わくわく体験教室を含む社会教育講座や成人記念事業などを

継続実施するほか、公民館講座として施設利用団体のご協力をいただき、新たな講座の取り組みを行ってまいります。

また、高齢者学びの集い・あつまれ！銀河キッズジュニアリーダー研修会等を実施している十勝東北社会教育連絡協議会の事業運営に継続参加してまいります。

小学校6年生を対象とする「冒険体感inとうきょう派遣事業」と主に中学校2年生を対象とする「中学生等海外研修派遣事業」につきましては、陸別に在住する小中学生にとって貴重な体験学習の場となっており、町部局と連携をとりながら今年度も継続して実施してまいります。

学童保育所指導員設置事業につきましては、今年度から保健福祉センターの所管から教育委員会の所管とするため、所要の予算を社会教育総務費で計上いたしました。



その3 「文化の振興」

社会教育計画における文化芸術分野の基本目標では

「学習活動、文化活動や高度な芸術の鑑賞などを通して、陸別町にふさわしい郷土に根ざした文化芸術を築き、豊かな地域文化の振興に努める」としています。

このため、各文化団体、サークル活動に対する活動支援や情報提供を継続し、文化祭の開催、あかえぞ発刊事業の支援などを文化協会と協力しながら実施して

まいります。

また、ふるさと劇場の運営協力を継続し、文化・芸術鑑賞の機会を維持してまいります。

次に、公民館の運営についてであります。

公民館は、町民の学びの場や交流の場として社会教育施設の中核をなすものであります。

公民館講座や教室などを開催して町民の学習機会の拡充に努めるとともに、図

書室の利便性の向上に努めてまいります。
公民館の管理につきまし

その4 「文化財の整備」

本町の文化財につきましては、関寛齋をはじめ国史跡ユクエピラチャシ跡や町指定文化財、郷土資料など恵まれた環境にあり、これらの活用に向けた整備を継続してまいります。

史跡ユクエピラチャシ跡につきましては、すでに活用段階に移行しており、町民参加を目的とする写真コンテストを継続実施してまいります。

今後も史跡周辺の整備を進めるとともに、関寛齋と連動した活用事業などを模索し、より多くの人に「白いチャシ」に足を運んでいただくことよって、文化財保護の理解が広まるよう努めてまいります。

郷土資料につきましては、昨年、収蔵場所である旧中斗満小学校の床改修が完了したことから、本格的な資料整備に着手し、資料

では、引き続き民間委託を推進してまいります。

の単なる「収蔵」場所から「展示収蔵」場所としての整備を進めてまいります。

関寛齋につきましては、今年に関寛齋没後100周年にあたることから実行委員会による記念事業を実施するため、所要の予算を計上いたしました。
この記念事業におきまし

その5 「スポーツの振興」

昨年の6月にスポーツ基本法が公布されました。

この法律は、昭和36年に制定されたスポーツ振興法を50年ぶりに全部改正したものであり、国のスポーツに対する基本政策を定めたものであります。

この法改正により、従来の「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」に名称を変えることになりました。また、スポーツ基本法で

では、これまでの「陸別町開拓の祖」としての評価から「幕末・明治に活躍した第一線の蘭方医」としての評価をよりアピールすることにより、今まで以上に広く関寛齋を発信する契機となるよう努めてまいります。
関寛齋資料館につきましては、繁忙期に入館料の無料期間を設定する運営調査を継続することにより、資料館の周知を進めてまいります。
また、関寛齋顕彰会の活動支援を継続してまいります。

は「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは人々の権利である」とうたわれており、国や地方公共団体には、その環境を構築する責務があることが明記されたところであります。
本町においても、第5期

陸別町総合計画、第7期陸別町社会教育計画に基づき、スポーツ活動を通して町民の健康と体力の維持、増進を図ってまいります。

今年度もスポーツ活動の機会提供のために、パークゴルフやミニバレー、フロアーリングなどの各種大会を開催してまいります。
「町民スポーツレク大会」は、今年度も農村部を含めた町民皆様のご協力をお願いし、第45回目となる大会を開催してまいります。
町内各自治会の皆様方のご協力をよろしく願いたします。



体育施設の備品につきましては、サッカーのゴールネットなどを更新するため、所要の予算を計上いたしました。

今年度もスポーツ推進委員や体育連盟・スポーツ少年団さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民一人一人が健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の適切な維持管理やスポーツを楽しむ機会の提供に努めてまいります。

以上、平成24年度の教育行政の主要な方針について申し上げます。

これからも、家庭、学校、地域や各関係機関と連携を深め、理事者との緊密な連携のもとで、職員一丸となって積極的な教育行政を推進し、町民の付託に応えるよう努めてまいりたいと思

体育施設の整備につきましては、町民運動場の防風林の整備を実施するため、所要の予算を計上いたしました。

町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。執行方針といたします。

平成23年度

陸別町教育振興賞

平成23年度において文化、スポーツの分野で活躍された方々に、3月20日タウンホールにおいて教育振興賞が贈られました。今年度は個人24名、1団体9名が受賞し、澤村教育長から受賞者一人ひとりに賞状やメダルが手渡されました。受賞者は次のとおり。(団体の個人名は敬称略) 受賞者名下の()は、所属等です。



写真は文化努力賞を受賞の石橋千治さん

- ☆文化努力賞(一般部門)
- ◇石橋 千治さん(友の会)
第42回全道書道コンクール ボールペン字 秀作
- ★児童生徒文化奨励賞(生徒部門)
- ◇田口 桃子さん中1(陸別中学校)

- 第54回十勝子ども大会 書道の部 特選
- ☆児童生徒文化努力賞(生徒部門)
- ◇山崎 莉奈さん中3(陸別中学校)
第54回十勝子ども大会 家庭科作品の部 入選
- ◇湯浅 遥さん中2(陸別中学校)
第54回十勝子ども大会 デザインの部 入選
- ◇岩崎 美春さん中1(陸別中学校)
第54回十勝子ども大会 書道の部 秀作
- ◇廣谷 梨那さん中1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 特別賞
- ◇上田 夏輝さん中1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 特選
- ◇本間 遼斗さん中1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 特選

- 部 特選
- ◇大井 貴史さん中1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 優秀作
- ◇大沼 勇輝さん中1(友の会)
第42回全道書道コンクール 中学ペン字 優秀作
- ★児童生徒文化奨励賞(児童部門)
- ◇品野 姫巴さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 特別賞五席
- ☆児童生徒文化努力賞(児童部門)
- ◇山崎 凌弥さん小6(陸別小学校)
第21回とかち・ひだか児童版画コンクール 銀賞
- ◇猪狩 亘さん小6(陸別小学校)
第21回とかち・ひだか児童版画コンクール 銅賞
- ◇谷川 実保さん小4(陸別小学校)
第43回全国学生書道展 優秀作
- ◇沼澤 萌さん小4(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 特別賞
- ◇早田 紫音さん小2(友の会)
第42回全道書道コンクール 硬筆部 秀作
- ◇野原 大和さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 硬筆部 秀作
- ◇村上 彩那さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 硬筆部 優秀作

- ◇石橋 朱莉さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 優秀作
- ◇大鳥居沙紀さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 優秀作
- ◇佐々木健斗さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 秀作
- ◇北川 拓真さん小1(友の会)
第42回全道書道コンクール 毛筆部 秀作
- ★ジュニアスポーツ奨励賞(生徒部門)
- ◇鈴木 幹太さん中3(陸別中学校)
平成23年度全国中学校体育大会
第32回全国中学校スケート大会
500m・1000m出場
- ★ジュニアスポーツ奨励賞(児童部門)
- 陸別サッカークラブ少年団 9名
第24回勝毎杯全十勝少年団サッカークラブ大会2年生クラス 優勝
(中村 龍、東雲叶夢、菊地悠太、清水祐希、加賀谷駿、中谷藍大、横山暖人(以上小学2年7名)、荒木功成、北川拓真(以上小学1年2名))
- ☆ジュニアスポーツ努力賞(児童部門)
- ◇前田 息吹さん小2(陸別パドミントン少年団)
平成23年度北海道ABCバドミントン大会 十勝地区予選会
男子シングルスC 第3位

情報
INFORMATION

職員人事異動 4月1日付け

【町職員】()内は前職名

- 今村保広▽総務課主幹 選挙管理委員会書記併任(町民課主任主査)
- 菅原靖志▽総務課主任主査(総務課主任)
- 請川義浩▽総務課主任主査(産業振興課主任)
- 渡部哲仁▽総務課主任主査 選挙管理委員会書記併任(総務課主任)
- 清水遊▽総務課主任(保健福祉センター主任)
- 向井啓▽総務課主任(町民課主任)
- 合田周平▽選挙管理委員会書記 総務課主事補併任(総務課主事補)
- 本間希▽町民課主任主査(町民課主任)
- 滝口和雄▽町民課主任主査(産業振興課主任主査)
- 大山口加代▽町民課主任(保健福祉センター主任)
- 瀬藤知幸▽町民課主任(産業振興課主任)
- 藤原将▽町民課主事(選挙管理委員会書記 総務課主事併任)
- 早坂政志▽保健福祉センター次長兼診療所事務長(保健福祉センター次長)
- 石川欣仁▽保健福祉センター主幹 社会福祉協議会派遣(建設課主任主査)
- 丹野景広▽保健福祉センター主幹(総務課主任主査)
- 庄野勝政▽保健福祉センター主任主査(総務課主任主査 選挙管理委員会事務局併任)
- 首藤貴美子▽保健福祉センター主査(議会事務局主査)
- 下野惣平▽産業振興課参事(農業委員会事務局長)
- 副島俊樹▽産業振興課主幹(産業振興課主任主査)

平成24年度調理師試験の実施について

- ◇試験の日時
平成24年8月30日(木)午後1時30分から午後4時まで
- ◇試験地
帯広市(会場は受験票により通知する)
- ◇受験資格
学校教育法第57条に規定する者であって、多数人に対して飲食物を調理して供与する寄宿舎、学校、病院等の施設又は飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業に該当する営業に平成24年5月25日までに2年以上調理の業務に従事した者
- ◇願書提出先
北海道帯広保健所及び各支所
- ◇願書受付期間
平成24年5月14日(月)から平成24年5月25日(金)
- ◇受験手数料
6,700円分の北海道収入証紙により納入する(国の収入印紙と間違えないように注意してください)
- ◇願書等の配布
4月2日(月)から帯広保健所及び各支所で配布予定
- ◇問い合わせ先
北海道帯広保健所 子ども・健康推進課 健康増進係 電話0155-27-8638
連絡先 子ども・健康推進課 健康増進係

電気毛布・電気ミニマット・電気カーペットをご使用のみなさまへ



愛情点検で快適な冬を!

長年ご使用の暖房器具で、経年劣化が原因の火災事故が起きています。
事故を未然に防ぐため、日頃から製品とその周辺のチェックを行いましょう。

少しでもおかしいと思ったらご使用を中止してください

- ・発煙、発火、こげの原因になる恐れがあり、このままご使用いただくのは、大変危険です。
- ・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店またはメーカーのお問い合わせ先にご相談ください。
ただし機種によっては、修理ができない場合もありますのでご了承ください。

一般社団法人 日本電機工業会 会員会社 お問い合わせ先

三洋電機株式会社	0857-21-2275	日立アプライアンス株式会社	フリーダイヤル 0120-3121-11
シャープ株式会社	フリーダイヤル 0120-078-178	株式会社富士通ゼネラル	フリーダイヤル 0120-089-888
象印マホービン株式会社	フリーダイヤル 0120-266-128	富士電機株式会社	フリーダイヤル 0120-12-6504
東芝ホームテクノ株式会社	フリーダイヤル 0120-622-245	三菱電機株式会社	フリーダイヤル 0120-139-365
パナソニック株式会社 (旧松下電器産業株式会社、旧松下電工株式会社)	フリーダイヤル 0120-878-365	株式会社ユーイング (旧島田電工株式会社)	フリーダイヤル 0120-911-597

※受付時間 9:00～17:00(土日、祝日は除く)
※お問い合わせの際に提示された個人情報、当該目的以外には使用致しません。

JEMA 一般社団法人 日本電機工業会
<http://www.jema-net.or.jp/>

消費者相談室から

典子の部屋

第7回

消費生活専門相談員
佐藤典子

〈配置薬のトラブルに注意〉

どこの家庭でも1つや2つある配置薬ですが、断ったのに強引において行かれてしまった、という話を町内の方から聞きましたので、トラブルの事例を紹介します。

- ・しつこい勧誘
- ・定期訪問の際に高額な健康食品などの薬以外のものを売ろうとする（薬を訪問の口実にして他の商品売る）
- ・販売員に薬箱を引き取ってもらおうよう言っても、「置いておだけでいいから」と引き取ってもらえない（この場合は箱に書いてある事業所に連絡する方が良いでしょう。又、この薬箱の所有権は配置業者にあります。自分の判断で処分しないようにしましょう。）

《くらしの事故に注意》

～家庭用電動工具（電動のこぎり、ドリル、チェーンソーなど）～

- ①木材などを切断中に工具や材料が跳ね上がって、ケガをした。
- ②軍手（粗い編み地の手袋）や手より大きくて、だぶつきのある手袋を着用して工具に巻き込まれたり引っ張られたりした。
- ③過熱した刃でやけどした。

これらの事故事例は一部にすぎません。電動工具には危険が潜んでいます。

①のような思わぬことで大ケガをするおそれもあります。自分の習熟度や用途に応じた工具を選び、十分注意して使用してください。

消費生活専門相談員による相談窓口は、月2回開設しております。

毎月、役場第1会議室にて第2・第4木曜日の13:00～15:00の開設です。

※時間場所は変更となる場合がありますので、詳しくは、くらしのカレンダーでご確認下さい。

- 津田浩之▽産業振興課主任主査(保健福祉センター主任主査)
- 嶋田竜哉▽産業振興課主任主査(産業振興課主任)
- 工藤康孝▽産業振興課主任(総務課主任)
- 上田智章▽産業振興課主事(町民課主事)
- 清水光明▽建設課主幹(建設課主任主査)
- 山崎誠▽建設課主任主査(建設課主任)
- 五十嵐智幸▽建設課主任主査(出納課主任主査)
- 水間史人▽建設課主任主査(建設課主任)
- 橋本慎也▽建設課主任(総務課主任)
- 阿部博▽出納課主任主査(町民課主任主査)
- 渡辺優美子▽診療所主任主査(診療所主査)
- 棟方勝則▽農業委員会事務局長(診療所事務長)
- 吉田利之▽議会事務局主任(教育委員会主任)

◇退職

- 秋山勝幸(総務課参事池北三町行政事務組合派遣)
- 浅井士朗(産業振興課主査)
- 堀江勇樹(産業振興課主任)
- 小栗朝子(保健福祉センター主査)
- 宮崎富美子(保健福祉センター臨時事務補助員)

【陸別消防署】()内は前職名

- 原田伸仁▽消防課長(消防課長兼庶務係長事務取扱)
- 高橋直人▽警防課長(警防課長兼救急係長事務取扱)
- 林嗣人▽消防課庶務係長(消防課庶務係主査)
- 久保田和哉▽警防課救急係長(警防課救急係主査兼警防係主査兼機械係主査)

※各担当部署につきましては、行政機構に掲載してあります。

新規採用職員



主事補
池田 瑠亜 (20歳)

教育委員会
管理担当



主事
水間 倫 (22歳)

産業振興課
商工業振興担当



保育士
石村 恭美 (20歳)

保健福祉センター
保育所担当



保育士
星 順枝 (28歳)

保健福祉センター
保育所担当



道路工業㈱十勝営業所が、障害者宅の排雪や屋根の雪下ろし、自宅前の舗装工事を無償で行った社会貢献活動に対して2月29日感謝状が贈られました。



2月26日、「ふれあいカラオケチャリティーショー」が開催され、町内で日頃カラオケを楽しむ各カラオケ会メンバーが、日頃きたえた歌声や踊りを披露しました。



陸別リコーダーアンサンブルクラブ（嶋本勇指導者）は、3月11日「スプリングコンサート2012」を開き、メンバー8人がクラシックやアニメ、映画音楽などを披露しました。



ボランティアグループひまわり会（林妙子 会長）主催で今回31回を迎えた「お年寄りを励ますふれ愛の集い」が3月2日行われ、来場者は作りたてのそばを食べながら歓談しました。



3月12日、小学6年生20名が社会科の授業の一環として町議会3月定例会を傍聴しました。子どもたちには少し難しい内容でしたが、緊張感のある議会の雰囲気を感じたようでした。



陸別くらし塾（土屋たか子 塾長）主催のまちづくり講演会が3月12日開かれ、毎日新聞編集委員の小島正美氏が「ニュースの伝え方と造られ方」と題した講演を行いました。



南極観測隊員として派遣されていた空井猛壽さんが、約2ヶ月間の任務を終え3月20日に帰町。町職員ら約30人の歓迎を受け、次期隊員候補の遠野菊夫さんから花束が渡されました。



3月15日、陸別中学校で3年生32名が卒業式を迎え、父母らが見守るなか清田校長から一人ひとりに卒業証書が手渡され3年間過ごした学舎をあとにしました。



平成23年度「北海道木材利用施設コンクール」で陸別小学校の校舎が北海道知事賞を受賞し、3月21日札幌で行われた表彰式で石橋教育委員長が受賞し、金澤町長へ引き継がれました。



3月22日、町と北海道大学や名古屋大学などの研究機関が集まり、事業協力や交流活動を通し地域振興を目的とした「社会連携連絡協議会」が開かれ、今年度の活動計画が話し合われました。



陸別保育所で3月26日、卒園式がありました。きりん組の園児15名に卒園証書が手渡され、付き添いの父母らに感謝の言葉を贈りました。



陸別小学校で3月23日卒業式を迎え、在校生や父母らが見守るなか、20名の卒業生一人ひとりに帰山校長から卒業証書が手渡され、新しくなって1年間勉強した校舎に別れを告げました。

公民館だより

4月から図書室が午前中利用できるようになりました。

陸別町公民館では、4月から図書室が午前中利用できるようになります。

開室時間は午前10時から12時までです。視聴覚室を含めた公民館全体の開館は今までどおり午後1時から5時45分となっております。

また、土曜日と日曜日は公民館全体が午前10時から午後4時30分まで開館しています（ただし12時から午後1時までの1時間は閉館しています）。

休館日もこれまで同様、毎週月曜日と年末年始です。祝祭日も休館日ですが、火曜日以降の単独の祝日は特別開館として午後開館しています（表参照）。

本の返却については、返却ポストが玄関前に設置されていますので、休館日やお昼休憩、開館時間外についてもご利用できます。



公民館の開館時刻

	開館時間	備考
通常開館	図書室のみ 10:00~12:00 公民館開館 13:00~17:45	月曜日休館
土日開館	10:00~12:00 13:00~16:30	
特別開館	13:00~17:45	火曜日以降の単独の祝日 小学校の振替休業日

本の貸出期間は3冊2週間です。

◇ 一般図書

推定有罪：前川 洋一
判決はCMのあとで ストロベリー・マ
I キュリー殺人事件：青柳 碧人
地層捜査：佐々木 謙
恋都の狐さん：北 夏輝
口癖の心理学：千石 涼太郎
苦手なあの人を味方につける方法：自覚 真由美
おとなごはんと一緒に作るあかちゃんこ
はん離乳食編：高橋 若菜
札幌ぐるメ いま人気のおいしい店2012



◇ 児童図書

ドキドキこわい都市伝説：藤田 晋一
おぼけマンション よいこになれる！？
おぼけキャンディー：むらい かよ
ダメ犬ジャックは今日もごきげん：パ
トリシア・フイーニ、ピーター・ベイリー
ふじさんファミリー：宮西 達也
おとどけものでーす！：間瀬 なおたか
ようちえんいやや：長谷川 義史
なべぶぎょう いっけんらくちやく
：穂高 順也・亀澤 裕也
めくつてはっけん！せかいちずえほん
：アレックス・プリンス、ケイト・リーク



◇ C D

「シングル」
SAILING：AAA
ぐるぐるカーテン：乃木坂46
サブリナ：家入 レオ
ミセイナミダハ、きつといつか：GREEN
「アルバム」
NEWTRAL：いきものがかり



◇ DVD

「DVD」
神様のカルテ
銀魂 01/08
こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE



<4月>

陸別町の子育て支援情報

日	曜日	行 事 等	子育て支援関係	担 当
1	日			
2	月		自由あそび(保健センター)	らっこクラブ
3	火			
4	水			
5	木		親子リズムあそび(保健センター・親子ひろば)	保健福祉センター
6	金	保育所入所式		
7	土			
8	日			
9	月	小・中学校入学式、始業式	自由あそび(保健センター)	らっこクラブ
10	火			
11	水			
12	木		親子リズムあそび(保健センター・親子ひろば)	保健福祉センター
13	金			
14	土			
15	日			
16	月		自由あそび(保健センター)	らっこクラブ
17	火			
18	水			
19	木		妊婦・乳幼児相談(保健センター) 親子リズムあそび(保健センター・親子ひろば)	保健福祉センター
20	金			
21	土			
22	日			
23	月		自由あそび(保健センター)	らっこクラブ
24	火			
25	水			
26	木		ポリオ予防接種(保健センター) 親子リズムあそび(保健センター・親子ひろば)	保健福祉センター
27	金			
28	土			
29	日			
30	振休			

※自由あそび(月曜日) ・親子リズムあそび(木曜日)は午前中の開催です。

【問合せ先】 ○保健福祉センター TEL27-8001 ○らっこクラブ(Tel27-2810 大鳥居代表宅)

◇ 子育て支援センターから ◇

○乳幼児とその保護者が自由に利用することができる「子育て親子ひろば」を開設しています。子どもたちの交流はもちろん、お父さん・お母さんの子育て情報を得る機会に、是非ご利用ください。

- ・日 時 毎週 月～金曜日 午前9時30分から
- ・場 所 保健センター内(トレーニング室の隣)

足寄から
Ashoro

足寄動物化石博物館からのお知らせ

大好評の「古生物模型づくり」体験に、4月からティラノサウルス生体の頭部とアショロカズハヒゲクジラ頭部骨格が新たに加わります。また「レプリカづくり」には、植物化石として初めて広葉樹(クマシデ)の葉の化石が登場します。

ぜひ、お友達・ご家族連れでご来館ください。
入館料

- ・一般 400円
- ・小・中学生、高校生、満65歳以上の方 200円
- ※これまで、無料で行っていた模型やレプリカの着色は、4月から有料(1個1100円)となります。

開館時間 午前9時30分～午後4時30分
休館日 火曜日(ただし、5月1日は開館します。)
詳細 足寄動物化石博物館 ☎25-9100

本別から
Honbetsu

義経の里本別公園の遊具をご利用ください

義経の里本別公園内のボート・ゴーカート等の有料遊具が4月から運営を開始します。ご家族連れで、ぜひ本別公園に遊びに来てください。

- 期 間 4月21日(土)～10月8日(月)
- 運 営 日 土・日・祝日
※その他の運営日はお問い合わせください
- 時 間 4月～6月 午前10時30分～午後4時30分
7月・8月 午前9時30分～午後4時30分
9月・10月 午前10時30分～午後3時30分
- 料 金 ○ボート 200円/30分
○ゴーカート コース1周 200円/1人乗り
300円/2人乗り
○バッテリーカー 50円
- 詳 細 本別公園「義経の館」 ☎22-4441

スポーツ振興基金のご紹介

SPORTS TOPICS

陸別町にはスポーツの振興を目的とした、「スポーツ振興基金」が設置されています。

この基金の運用益をもとにして、陸別町に在住する個人または団体のスポーツ活動を援助する制度がありますので、Q & Aのかたちでご紹介します。

Q：どんなときに助成してもらえるのですか？

A：これまでに助成したなかで、多いのは次の2つです。

- ①地区予選を勝ち抜いて、全道大会・全国大会に出場するとき。
 - ②スポーツ指導者講習会（審判講習も含む）を受けるとき。
- 他にもありますが、くわしい事は教育委員会におたずね下さい。

Q：どのくらい助成してくれるのですか？

A：おおまかに言うと、交通費・宿泊料・参加費・滞在費の実費額の、①大会出場は3分の2以内、②講習会は全額助成されます。

この事については、町が定めた「助成基準」がありますので、お問い合わせ願います。

Q：申し込んだらすぐ助成してくれますか。

A：助成を受けるためには、事前に「スポーツ振興基金運用委員会」で審査・決定してもらう必要があります。

まずは、お早めに教育委員会にご相談願います。

○スポーツ振興基金については、教育委員会社会教育・社会体育担当（電話：27-2123）におたずね下さい。

第26回 冬季ミニバレー大会 成績結果

(2月20日 陸中体育館)



17チーム参加

- 優勝 若葉B チーム
- 準優勝 新町1区 チーム
- 第3位 若葉A チーム

写真は、優勝した若葉Bチーム

前列左から平井久美子さん、中川奈美江さん、後列左から平井均さん、井田智和さんです。

第29回 町民ゲートボール大会 成績結果

(3月22日 老人健康増進センター)



4チーム参加

- 優勝 藤田チーム
- 準優勝 東原チーム
- 第3位 教委チーム

写真は全選手の集合写真。優勝した藤田チームのメンバーは：前列右から早坂道子さん、長屋ハヤさん、西山時子さん、藤田治江さんです。

第13回 町民フロアーリング大会 成績結果

(2月21日 陸中体育館)



9チーム参加

- 優勝 下陸別A チーム
- 準優勝 新町1区 チーム
- 第3位 淑女グループ チーム

写真は、優勝した下陸別AチームとBチームの皆さん。前列左から野島俊彦さん、野島せい子さん、黒沼明美さん、山本恵子さん、中列左から松山孝和さん、岡正浩さん、菊地睦さん、清田忠春さん。後列左から新倉忠司さん、岡明美さん

健康コーナー

165

☆知っておきたい！子どもの予防接種事情

【担当】
保健福祉センター
保健師 菅野このみ

乳幼児期は免疫（病気に対する抵抗力）が未発達なため、さまざまな感染症にかかりやすいため、感染することによって免疫をつけながら成長していくのですが、子どもがかかりやすい感染症は、軽いものだけでなくあります。中には、確実な治療法がなく、深刻な後遺症を残したり、命を落とすような危険な病気もあります。そうした感染症は、まさかからないように予防することが大切です。

近年、たくさんの種類の予防接種が日本でも認可され、当町で接種できるワクチンの種類もここ数年で増えました。

〈表1：予防接種の種類〉

種類	予防接種の名前	予防できる病気
定期予防接種	BCG	結核
	三種混合	ジフテリア、百日咳、破傷風
	ポリオ	急性灰白髄炎：小児マヒ
	麻疹・風疹混合（MR）	麻疹（はしか）、風疹
任意予防接種	ヒブ（Hib）	インフルエンザ菌b型による髄膜炎等
	小児用肺炎球菌（7価）	肺炎球菌による髄膜炎等
	インフルエンザ	インフルエンザ
	おたふくかぜ	おたふくかぜの予防
	水ぼうそう	水ぼうそうの予防
	子宮頸がんワクチン	子宮頸がん

（表1）。子育て中の保護者の方はどのワクチンを優先的に打っていったらよいか悩んでしまうこともよくあると思います。予防接種のスケジュールの立て方に困ったときは、保健師までご相談ください。

〈予防接種の実施〉

・予防接種は体の調子の良いときに受けましょう。
・予防接種後は、副反応が出ることもあります。ワクチンは病原体の毒性を弱めて、発病しない状態にしています。発病しない状態にしているときは熱が出たり腕が腫れたり、発疹などの症状が出ることもあります。ワクチンの種類によっては副反応の出る確率も症状も異なります。万が一、健康被害が



出た場合には、医療手当てをはじめとする救済制度があります。



・予防接種は自然感染よりはるかに安全に免疫をつくりやすいため、例え感染しても症状が軽いなど、重症化を防ぐのが特徴です。他の人へのうつさせない点もワクチンの利点です。しかし、自然感染に比べて生み出される免疫力は弱い場合があります。追加接種が必要になることがあります。必要となる前にワクチンで十分な免疫をつけておくことが大切です。0歳児のワクチンには生後2ヶ月になる前に接種できるものもありません。全体のスケジュールは、

【平成24年度 各種予防接種のお知らせ】

※それぞれ時期が近くなりましたら対象の方へ詳細をお知らせします。

○ポリオ集団予防接種

- ・対象：生後3ヶ月から90ヶ月未満の乳幼児
- ・接種日：4月26日（木）・10月4日（木）※年2回実施
- ・場所：保健センター
- ・料金：無料

○麻疹風疹3期・4期予防接種

- ・対象：3期：中学1年生
4期：高校3年生
- ・接種日：対象の方へ個別に配布しました予防接種カレンダーにてご確認ください。
- ・場所：陸別町国保関寛齋診療所
- ・料金：無料
- ※接種期間は25年3月末までですが、麻疹は春先に流行しやすい感染症なので早めに受けましょう。

○三種混合（DT）予防接種

- ・対象：小学校6年生
- ・接種日：8月6日（月）、7日（火）、8日（水）
- ※3日間のうち、都合のいい日を選んで受診してください。

《DT予防接種とは》

・ジフテリア、破傷風の予防接種です。
・乳幼児期に接種した三種混合予防接種の追加接種として行います。
・今回の接種をもって三種混合予防接種が完了しますので、受けるようになります。

○子宮頸がん予防ワクチン予防接種

- ・対象：中学1年生女子
- ・接種時期：確定しましたらご案内致します。
- ※合計3回の接種が必要です
- ・場所：陸別町国保関寛齋診療所
- ・料金：無料

《子宮頸がんとは》

20〜30歳代で急増するがんです。原因は、ほぼ100%がヒトパピローマウイルス（HPV）の感染で、これらに感染すると数年から数十年かけて、子宮頸がんを発症することがあります。ワクチン接種で子宮頸がんのリスクがゼロになるわけではありませんが、20歳を過ぎたら必ず定期的に検診を受けましょう。

銀河の森コテージ村からのお知らせ

〈3月25日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認ください。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL27-4040 FAX27-4041)

4月	コテージ 予約状況	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	6人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月	コテージ 予約状況	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	6人用	○	△	●	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10人用	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

町民のうごき

うぶごえ	滝田 翔梧 <small>しょうご</small> くん	裕充 <small>ゆうちゆう</small> さん 明美 <small>あけみ</small> さん	3・6	新町2区
けっこん	(中村 圭佑 <small>けいすけ</small> さん 後原 史奈 <small>しな</small> さん)	3・10	共栄第1 音更町	
おくみやみ	小林 留治 <small>りゅうじ</small> さん	89歳	3・9	新町2区
	棟方 政男 <small>まさお</small> さん	89歳	3・19	共栄第1
	畠野 英治 <small>えいじ</small> さん	61歳	3・20	大通
	原 義雄 <small>よしのぶ</small> さん	74歳	3・23	栄町



「ご厚意」
ご寄付ありがとうございます
陸別町へのご寄付
□日産自動車株式会社から
イベント用としてN I S
S A Nロゴ入りベンチ
30
脚が寄付されました。

運転免許更新時講習日程

月	会場名	種類	日	曜日	時刻
5月	本別中央公民館	一般	9	水	10:00
		優良	9	水	11:30
		初回	9	水	13:00
		違反	23	水	10:00
月	足寄町民センター	優良	17	木	14:00
		一般	17	木	15:00

月	会場名	種類	日	曜日	時刻
4月	本別中央公民館	一般	4	水	10:00
		優良	4	水	11:30
		違反	18	水	10:00
		優良	19	木	14:00
月	足寄町民センター	優良	19	木	14:00
		一般	19	木	15:00

※本別警察署で更新手続きを済ませてから受講して下さい。

町の人口・世帯数 24.2.29

人口	2,682人(-4)
男	1,337人(-3)
女	1,345人(-1)
世帯数	1,356戸(-5)

友好町民の会 254人(前月比+2人)

ホームページアドレス
<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>

社会福祉協議会
ボランティアセンター
(愛情銀行へのご寄付)
□陸別カラオケクラブ(山
本厚一 会長から社会福
祉協議会に3万円が寄付
されました。
□藤澤き江さん(上斗満)
から社会福祉協議会に10
万円が寄付されました。
□小林貞子さん(新町2区)
から社会福祉協議会に5
万円が寄付されました。

陸別町行政機構 (平成24年4月1日現在)

役場 電話 27-2141 FAX 27-2797

e-mail info@rikubetsu.jp

陸別町ホームページ http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/

町長 金澤 紘一

副町長 佐々木 敏治

会計管理者 芳賀 均

国保関寛齋診療所

電話 27-2135 FAX 27-8002

所長 高橋 克宗
副所長 角熊 俊也
事務長 早坂 政志(兼)
看護師長 瀧澤 敦子

建設課

課長 小栗 幹夫
主幹 清水 光明

産業振興課

課長 野下 純一
参事 下野 惣平
主幹 副島 俊樹

地域包括支援センター

所長 早坂 政志(兼)

保健福祉センター

電話 27-8001 FAX 27-8002

所長 高橋 克宗(兼)
次長 早坂 政志
主幹 丹野 景広
主幹 石川 欣仁 (陸別町社会福祉協議会派遣)

町民課

課長 朝日 大二

総務課

課長 高橋 豊
参事 杉本 武勝
(陸別町商工会派遣)
主幹 今村 保広

出納課

課長 芳賀 均(兼)

医 療 担 当
主査 長谷部勝枝・瀧口美紀・櫻井孝保・佐々木奈津子・二瓶英樹・北村恵美子・名波誌符美
技師 飯山秀世
医師 戸松隆透

総 務 担 当
主査 宮崎正博
主査 瀧口久美子・大井妙子

土 木 担 当
主査 山崎 誠
主査 橋本慎也・宮古 稔(兼)・岩崎 仁(兼)

建 築 担 当
(主幹 清水光明)
主査 長井佳介

水 道 担 当
主査 五十嵐智幸
主査 水間史人(兼)

下 水 道 担 当
主査 五十嵐智幸(兼)

農畜産物加工研修センター
電話 27-2192
(主幹 副島俊樹)

銀河の森振興担当
電話 27-8100
(主幹 副島俊樹)
主査 箕 伸浩・村田拓也

林業振興担当
主査 嶋田竜哉
主査 上田智章

商工業振興担当
主査 丹崎秀幸
主査 工藤康孝・水間 倫

農業振興担当
主査 津田浩之
主査 遠藤克博・瀧澤勇二・角谷亮輔

在宅福祉担当
主査 庄野勝政(兼)
主査 首藤貴美子(兼)・前田智美(兼)・菅原育子(兼)・請川友香・菅野このみ(兼)

保 育 所 担 当
電話 27-2256
主査 橋本博子
主査 前田智恵子・神林卓也・須藤美代・星 順枝・石村恭美・横山孝枝

保健指導担当
(主幹 丹野景広)
主査 前田智美・菅原育子・請川友香(兼)・菅野このみ・瀧口久美子(兼)

介護保険担当
主査 庄野勝政
主査 首藤貴美子

福 祉 担 当
主査 西田直人
主査 西川 勉

国保・衛生担当
主査 瀧口和雄
主査 佐々木美雪・干場真理・藤原 将

広報広聴・統計担当
主査 本間 希
主査 瀬藤知幸(兼)

戸籍基本台帳
主査 坂本智之
主査 藤原 将(兼)

総合窓口
主査 坂本智之
主査 藤原 将(兼)

税 務 担 当
主査 津幡恵一
主査 大山口加代・瀬藤知幸

管財防災担当
主査 佐藤壽一
主査 長屋正史・向井 啓・宮古 稔・岩崎 仁

総 務 担 当
主査 渡部哲仁
主査 合田周平(併)・餌取佳子

企画・財政室
主査 菅原靖志
主査 竹島美登里・清水 遊

出 納 担 当
主査 阿部 博

陸別消防署

電話 27-12524
FAX 27-12438

署長 竹内 勲

消防課 原田伸仁

庶務係 林 嗣人
係長 小田切卓弥(兼) 東 純一

消防係 女川 修
係長 小田切卓弥(兼) 東 純一(兼)

予防一係 瀧澤 徹
主査 伊藤佳彦
主査 小田切卓弥 東 純一(兼) 中村圭佑

予防二係 瀧澤 徹(兼)
主査 伊藤佳彦(兼)
主査 小田切卓弥(兼) 東 純一(兼) 中村圭佑(兼)

警防課 高橋直人

警防係 藤本拓史(兼)
係長 前川亜樹(兼) 正者 瞭

機械係 藤本拓史
係長 青木 健(兼) 前川亜樹(兼) 正者 瞭(兼) 中村圭佑(兼)

救急係 久保田和哉
係長 青木 健 前川亜樹 中村圭佑(兼)

選挙管理委員会

委員長 石川 忠義
書記長 高橋 豊(併)
書記 今村保広(併) 渡部哲仁(併) 合田周平

監査委員

代表監査委員 飯尾 清
監査委員 河瀬 洋美
書記 吉田 功(併) 吉田利之(併)

農業委員会

会長 多胡 裕司
事務局長 棟方 勝則
瀧澤勇二(併)

教育委員会

電話 27-12124
FAX 27-12124

委員長 石橋 勉
教育長 澤村 壽展
次長 有田 勝彦

管理担当 北村正利 池田瑠亜
主任主査 空井猛壽 遠藤香奈
主任主査 大鳥居仁 猪狩公教

陸別中学校 鈴木 稔

議会

議長 宮川 寛
副議長 野尻 秀隆
事務局長 吉田 功
主任 吉田利之